

びわ湖 管理情報トピックス

大雨・洪水シーズンへの備え

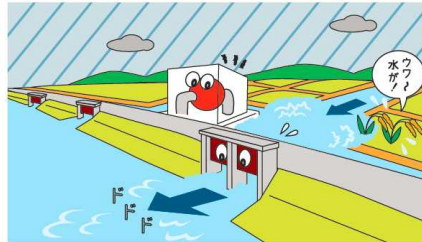
今年も雨の多い時期がやってきました。このような時期（6月16日～10月15日）は、琵琶湖の水位を下げてたくさん水を溜められる状態にして洪水に備えます。しかし、大雨の際には琵琶湖の水が上昇することで内陸側に逆流し、土地の低いところが水に浸かってしまう被害が起きてしまいます。

琵琶湖開発総合管理所では、琵琶湖の水が内陸側に逆流を始めるような大雨の場合には琵琶湖周辺の浸水被害を軽減させるために「**内水排除（ないすいはいじょ）**」という操作を行います。

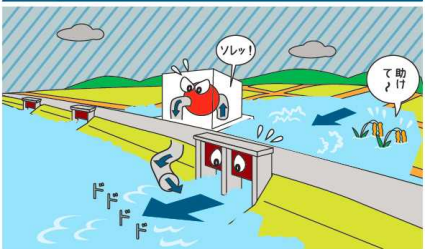
1 通常、水是水門等を通して内陸側から琵琶湖へ



2 水が自然に琵琶湖へ流れる間は、水門を開けたままに



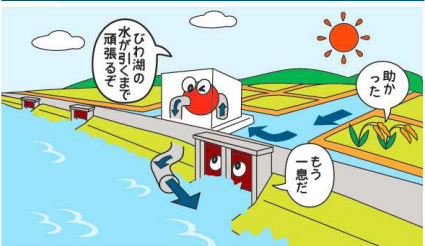
3 内陸側の水が流れなくなったら、ポンプ運転を開始



4 水が逆流してきたら、水門等を全閉しポンプをフル稼働



5 逆流しなくなったら、ポンプ運転終了



内水排除操作とは？

琵琶湖の水位が上昇して河川の水位に近づくと河川の水の勢いが弱まるので、排水ポンプを運転して河川の水位変化の様子を見ながら水門・樋門を閉めていきます。琵琶湖の水が内陸側へ逆流を始めると排水ポンプをフル稼働し、水門・樋門を全閉して内陸側の水を強制的に排水します。こうすることで、内陸側の水位が下がり、低い土地の浸水時間が短縮され浸水被害を軽減することができます。これらの一連の操作を**内水排除**といいます。

2017年10月 米原市

ポンプ稼働前（23日7:22撮影）



ポンプ稼働後（24日15:24撮影）



排水ポンプ稼働により内陸側の水位を低下させ、浸水時間の軽減に努めます！

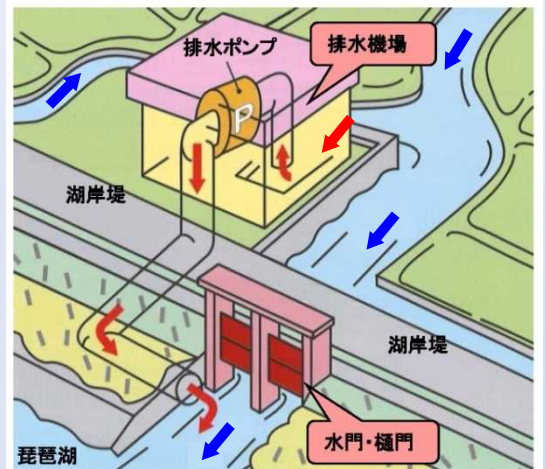
琵琶湖の湖岸治水

(湖岸堤・内水排除施設位置図)



排水ポンプを動かしても 一時的に水に浸かることがあります

水田の浸水被害を軽減するため、浸水時間の短縮を目的としたポンプを設置しています。したがって、強い雨が降ることで、ポンプの能力以上に川の流量がある時は、内陸側において浸水することがありますので、ご理解ください。



排水ポンプのはたらき



内水排除操作については
この冊子にて解説しています

水資源琵琶湖
ツイッター

琵琶湖の明日を見つめて

独立行政法人水資源機構 琵琶湖開発総合管理所

〒520-0243 滋賀県大津市堅田2丁目1-10
TEL.077-574-0680 FAX.077-574-1739

湖北管理所 〒521-0011 滋賀県米原市中多良1-2
TEL.0749-52-5160

湖西管理所 〒520-1623 滋賀県高島市今津町住吉1-3-4
TEL.0740-22-1500

湖南管理所 〒525-0001 滋賀県草津市下物町1091-58
TEL.077-568-4102

<https://www.water.go.jp/kansai/biwako/>

琵琶湖開発

検索



湖岸堤・管理用道路は令和4年4月で 管理開始30年になりました



びわこくん